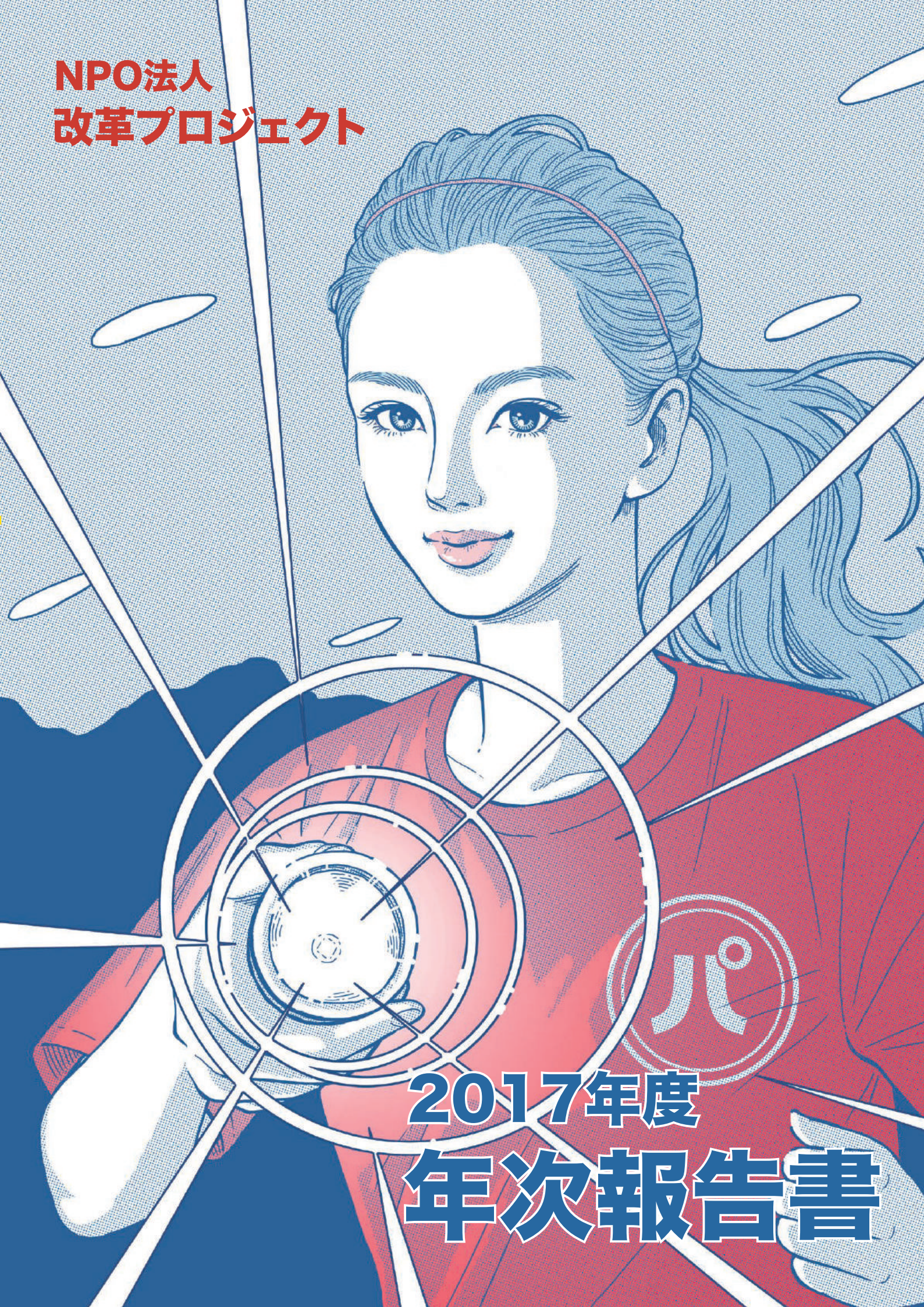


**NPO法人
改革プロジェクト**

A stylized illustration of a woman with blonde hair tied back, wearing a red long-sleeved shirt. She is holding a steering wheel. The background is blue with white lines and oval shapes. A circular logo with the Japanese character 'パ' (Pa) is on the right side of the shirt.

**2017年度
年次報告書**

2017年度のお礼とご報告

2017年は改革プロジェクトとして、大きく飛躍を迎えることができた1年となりました。初めて大阪マラソンの寄付先団体に選ばれたことに始まり、マニフェスト大賞の受賞、パトランでは29の都道府県でおよそ1,000人が登録し、チームの数は全国で9つに増えました。振り返ると、2010年に改革プロジェクトを設立してから8年の月日が経過しました。当初はNPOの言葉も全く知らず、ボランティア・地域貢献からは程遠い所にいた私ですが、団体の成長と共に、私自身も地域のこと、社会のことを日々学ばせていただいた毎日でした。活動に参加してくれるメンバーや活動を後押ししてくださる支援者の皆様の存在あってこそ、今の改革プロジェクトがあると感謝しています。暮らしやすい地域を市民主体で作っていくために、これからも活動を応援していただけますようお願い致します。

代表理事 立花 祐平



特性

- ・着想
- ・未来志向
- ・達成欲
- ・最上志向
- ・戦略性



「さあ、才能に目覚めよう
ストレングスファインダー」
から見る上位5つの強みです。

スタッフ挨拶



- ・社交性
- ・着想
- ・アレンジ
- ・ポジティブ
- ・適応性

広報 / 松田 愛子

改革プロジェクトに関わらせていただいて2年目の年でした。沢山の志の高いメンバーさんや個性あふれるスタッフ、私たちの活動を支えて下さった企業や団体、個人の皆様に感謝申し上げます。普段は裏方的な私ですが、改革プロジェクトのメインである「パトラン」の運営にも深く関わらせていただくようになりました。1年目も2年目もあれよあれよという間に駆け抜けてきた感覚ですが、2018年度も常に「自分には何ができるか」を考えながら、自分の持ち味も忘れずに引き続き楽しんでお手伝いさせていただく所存でございます。



- ・共感性
- ・活発性
- ・最上志向
- ・達成欲
- ・成長促進

企画 / 時安 里江

子育ても終わり、何か地域の役に立ちたい。そう思っていた時に当団体と出会いました。街が安全でいれるのは地域ボランティア団体のお陰だと思っており、その様な団体のリーダーとして活躍したい！街を護りたい！そんな想いで活動に携わっています。主にパトランでのイベント企画や運営に関わっており、女性が防犯に関心を持つことの意味と成果を感じながら、子どもや女性・お年寄りが安心して暮らせる街づくりを全国へ発信していくことが私の役割です。活動を支援して下さる方々の期待に添えるよう、持ち前の行動力を活かして2018年度も爆走いたします。



- ・着想
- ・戦略性
- ・運命思考
- ・最上志向
- ・収集心

ファンドレイザー / 高堂 大輔

「パトランと出会って人生が変わりました」うそっぽい言葉ですが、私はそうになってしまいました。防犯を深く考えるようになり、NPOの社会に対する活動の大切さを知り、同じ志を持つ仲間と「パトラン」という無限の可能性を持った活動を育てていくことにやりがいを感じています。今年は団体の運営基盤、ファンドレイジング東京オリンピックに向けても準備をしていきたいと思います。団体を支援して下さいの皆様、活動に賛同し参加して下さい全国の仲間、多くの方に支えられ私たちは活動できています。本年も継続的に活動し、犯罪のない世の中を目指していきます。

団体の足跡

- 2010年9月
任意団体として改革プロジェクト設立
- 2012年1月
防犯パトロール活動開始
- 2013年1月
パトランを開始
- 2013年7月
NPO法人格を取得
- 2014年12月
YOUNG JAPAN ACTION大賞受賞
- 2016年1月
パトランで商標登録取得
- 2017年1月
第7回大阪マラソンチャリティ寄付先団体に選定
- 2017年10月
マニフェスト大賞優秀賞受賞
- 2018年1月
第8回大阪マラソンチャリティ寄付先団体に選定

2017年度の改革プロジェクト事業

2017年度は団体スローガン「犯罪なき世の中へ」を実現するため、パトランの展開を軸にした事業を実施しました。



パトロール
事業

パトランの取り組み

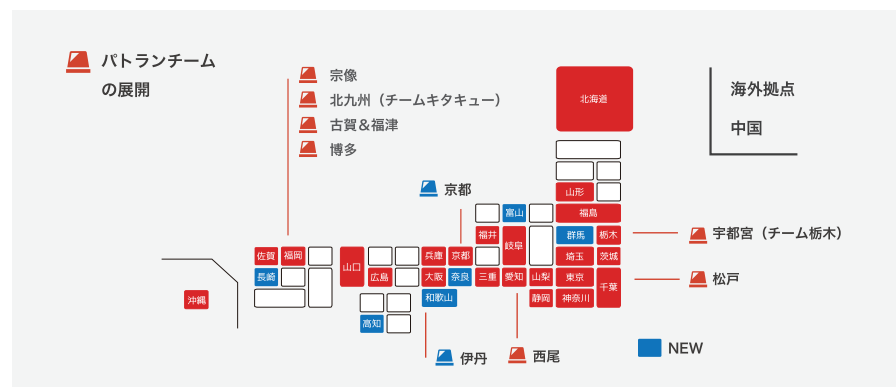


警察と連携して進める伊丹チーム

2013年1月からパトランを開始してから5年目を迎えました。展開地域は29の都道府県となり、チーム数では、新たに2つのチームが立ち上がりました。チーム登録、個人登録メンバーを合わせると1,000人を超えるメンバーが在籍しています。

- パトラン展開地域
29都道府県(2016年度23都道府県)
海外拠点(中国)
- チーム数
9チーム(2016年7チーム)
- パトランメンバー数
1,000名(2016年700名)

2018年3月31日時点



活動成果

2017年度活動人数

13,913人 ^{157%}

全国各地での1年間のパトラン実施人数の総計です。パトラン登録人数の増加に伴い前年と比較して157%増加しました。

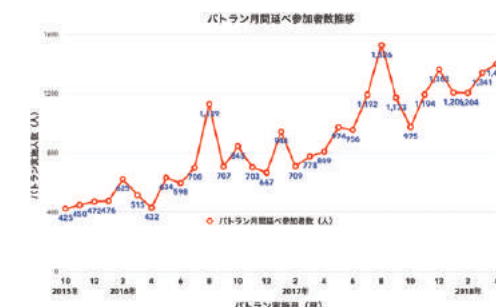
これまでの累計

集計を開始してからの30ヶ月間の合計パトラン実施人数です。

20,655人

2016年度活動人数

8,846人



月毎の活動人数の推移です。パトラン強化月間の8月には1ヶ月で過去最高となる1,526人が活動に取り組みました。

防犯啓発 事業

テクノロジーの進化で
防犯意識が薄らぐ現状

性犯罪の被害の影響を学ぶことを目的とした犯罪セミナーの開催や防犯講習会、講演を通じて日本社会における犯罪の現状や影響について伝えています。一般の方の参加はまだまだ少なく、街中においても歩きスマホ、イヤホンをして歩くなど無防備な若年層は多く、啓発がどこか他人事になってしまっているのが現状です。

全国各地での 活動の講演実績

7回



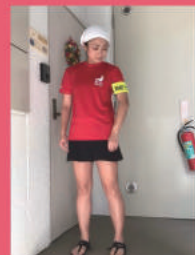
NEW

パトランチーム



去年は新たに2チームが発足しました。関西地方では初となる伊丹チームが10月1日に、1月21日には京都チームが設立し、関西で活動するメンバーが大幅に増加しました。

認定パトランナー

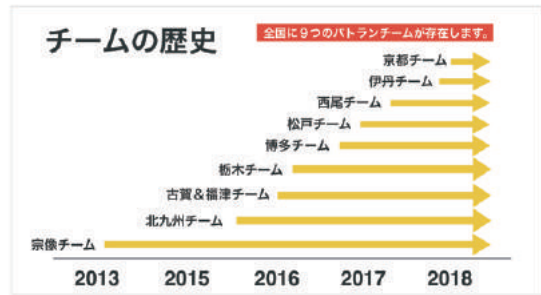


パトランの質や実施回数において欠かすことができない認定パトランナー。昨年1年間で20人の認定パトランナーが誕生しました。全国各地で認定パトランナーが防犯リーダーの役割を担い地域の安全推進を進めていきます。

パトランチームの状況

関西初の伊丹と京都チームがスタート！

2013 年にパトランを開始した当初は、福岡県宗像市のみの活動でした。それから2年あまりは宗像のみでの活動でしたが、2015 年に YOUNG JAPAN ACTION で大賞を受賞し、浅田真央さんがパトランに参加したことをきっかけに徐々に全国各地でメンバーが増え始めます。2016 年では関東エリア、2017 年は中部、関西に広がりました。



各チーム代表より



NEW

伊丹チーム
増井 宏倫

2017 年 10 月 1 日にチームとして 9 名で始動しました。昨年度の間で、多くの新聞・ラジオ・テレビに取り上げて頂いたり、伊丹警察から防犯活動の委嘱を受けたりと慌ただしくも伊丹市に密着した活動ができた初年度目標としていた活動基盤を築くことができました。今期の目標は初年度築いた活動基盤を崩すことなく、今以上に伊丹に密着できるよう定例コースの追加とチームのサポーターが増えるよう活動していきます。



栃木チーム
上武 順子

栃木県に「パトラン栃木チーム」が発足してはや3年目となりました。メンバーも増え定期的な活動も定着し地域の安心安全を念頭の元気に活動することができました。今期の目標として地域のボランティア団体等との連携協力、サポート活動など活動範囲を広げていきたいと思っています。



松戸チーム
竹内 誠二

2017 年はチームとしては、右肩上がりのメンバー増で飛躍の1年となりました。2018 年の松戸チームテーマは「初心」です。「パトランとはなんぞや」ということをそれぞれが再確認し、住んでいる地域の防犯の一助になるよう仲間と手を取り合いたいと思います。松戸を仲間達と住み良い街にするために。



NEW

京都チーム
鳥本 光照

京都チームは、2018 年 1 月 21 日にチーム設立のキックオフをさせて頂きました。そのため、昨年度は多くの方に協力頂きながら、チーム設立に向けた準備期間でした。今期は、京都でのパトランの認知を広めると共に、パトランナーひとりひとりの回数と活動の質にもこだわりながら、パトランをより広げていきたいと考えています。



古賀&福津チーム
溝口 憲一

古賀 & 福津チームは、来れる時に来れる人が気軽に参加しやすいアットホームなチーム作りを心がけてきました。最近ではメンバーも定着してきており、ルーターリーダーをやりたいと言ってくれる方も！今後は、ルーターリーダーを中心に古賀市、福津市の防犯のためにミーティングなども定期的に行い、実のあるパトランが行えるよう意識してやっていきたいと思っています。



西尾チーム
神谷 浩子

防犯意識の高揚と健康づくり、仲間づくりを旗印に「西尾の安心安全に向けて目を光らせ」行政機関と連携しながら、交通安全啓発活動に協力したり、星屑活動実施、反射タスキの配布を心がけて、昨年は 310 本渡すことができました。2018 年の目標は街頭犯罪ゼロの街を目指してパトラン意識を高める、パトランの活動を知ってもらい、パトランの仲間増強、反射タスキの配布、オール愛知を繋げよう。



宗像チーム
時安 里江

2017 年度は、定例パトランや子ども見守りパトラン、様々な PR パトランを含め 152 回の活動を行うことができました。その中でもパトラン宗像独自の取り組みである「子ども見守りパトラン」は、対象となる小学校が 3 校に増え月 4 回開催でき、ニーズに応えた活動になったと思います。今期は更に地域に密着した活動となるように、チームワーク力を発揮しながら取り組んでいきたいと思っています。



北九州チーム
仲村 龍治

昨年は多方面からのご協力をいただき、様々なメディア取材やイベント等があり、北九州周辺でパトランという言葉が定着してきたという実感をえました。その影響でパトラン会員数も順調に増えております。今年度はパトランの質を上げていきたいと考えています。3 つの地区で地域防犯パトロール隊と開催した防犯講習会では地域の方と話をすることで、今までのパトランでは意識していなかった場所や地域の問題を知ることができました。それらを意識することで、さらに地域の防犯に貢献していきたいです。



博多チーム
立花 祐平
(代表代理)

昨年は福岡市の早良区を中心拠点に添え、1 年間無理なくじっくりと活動を展開してきました。他のチームと比べパトラン事務局主導で動かし、活動も PR する機会もあり作れずメンバー数も少ないのですが、後半からは少しずつ新規メンバーも増えてきました。2018 年度は活動エリアを増やしていければと思っています。

活動成果

2017 年度の全国各地のパトランによる人助けや犯罪抑制のための報告事項などをまとめています。



救命／人助け 8 件	不審人物・車両 5 件	交通 3 件	火事 1 件
---------------	----------------	-----------	-----------

交通事故現場に遭遇し、人命救助の対応や高齢者の転倒、路上で倒れている人の対応などを実施しました。

公共施設の女子トイレにいた不審者の通報や校区内で目撃された不審人物の通報などを実施しました。

路上に落ちている 1 メートル大の投棄物撤去のために通報や道路の陥没など道路上での異変について対応しました。

建物より煙が出ていることを発見し 119 番への通報と非常階段から降りてくる人たちの誘導を行いました。

不法投棄 16 件	街灯切れ 6 件	まちの異変 1 件
--------------	-------------	--------------

粗大ゴミの投棄や河川に投棄された大量の自転車の回収のために行政への報告などを実施しました。

路上の街灯の電球切れを発見した場合に行政へ報告を実施しました。

池で鯉が大量に不自然に浮き上がっているを発見し行政へ報告しました。

12 / 27

報告した事項についての事後に実施が完了していたものは 12 件確認できました。
(対象: 不当投棄、街灯切れ、交通の 27 件)

課題

パトランチームだけでなく、個々人のパトランの質が向上し、防犯目線でのパトランが各地域に浸透しつつあります。2018 年度もより多くの成果が見込めますが、報告の受け入れ窓口となる行政や警察との関係性の構築についても工夫が必要です。

成果事例インタビュー

川底に沈む不法投棄ごみを撤去

2017 年 11 月に松戸市一級河川坂川に放置された不法投棄ごみが一斉撤去されました。この不法投棄ごみの撤去に向けて尽力したのが松戸チームに所属する庄司 善彦さん。撤去に至るまでの状況を伺いました。



投棄の状況に気付いたきっかけを教えてください

この不法投棄に気づいたのは 5 月 8 日のことでした。パトランの途中、後方から「バシャーッ！！」という川に何かが投げ落とされる音を聞きました。何事かと思い、引き返してみると水面に浮かんでいる自転車が見えました。残念ながら犯人はその場にはいなくなりましたが、それ以降川の様子に気がなり、パトラン中や帰宅途中に川を確認するようになりました。松戸チームのメンバーも川の現状を気にかけてくれるようになり、川の他の場所にも自転車や冷蔵庫のような大きなごみの不法投棄がたくさんあることがわかってきました。

川に不法投棄のごみが放置されていることの何が問題だと感じましたか？

大きくは 2 つです。1 つ目は、不法投棄を放っておくのは治安面にとっても良くないことです。2 つ目は坂川(お江戸川)につながっているため、川を流れる水はやがて東京都民の飲み水になります。この 2 つを考えると一刻も早く撤去する必要があると思いました。

撤去に向けてどのようなことを行いましたか？

まず松戸市役所の河川清流課へ電話しました。市からの回答は「1 級河川の坂川の中にあるごみの回収は、市の管轄でなく県の管轄であるため市では対応できない」というものでした。その 1 週間後に、千葉県河川環境課へ電話し確認すると「担当は土木事務所になる」とのことでした。たらい回しになり、最後は県土木事務所へ電話すると「水位が下がった秋頃までは対応できない」との回答。

水位が下がった 10 月に改めて状況について問い合わせるも、実施するとはっきりした回答なし。これはもしかすると対応されないかもしれないと懸念しました。

動かない行政を動かすためにどのようなことを実施しましたか？

行政を動かすためにメディアに現状を取材してもらおうと考えました。コンタクトを取るとメディアの反応もあり、トントン拍子で取材の段取りが進んでいきました。日時まで決定しそうな矢先、その動きを察知したのか、県が坂川の不法投棄の撤去に向けて動き出しました。全く動く気配がなかった行政がメディアに現状を伝えられてはまずいと感じたのか、そこからは行政の動きも早く、あれよあれよの内に不法投棄のごみは回収されました。投棄されたごみがなくなり川も綺麗になったため、結局取材は行われませんでした。最初には不法投棄を発見した現場では 10 台以上の自転車が回収されていたので本当に回収できてよかったと思います。またこの件を通じて、松戸チームメンバーの熱意を改めて感じる事ができました。

庄司 善彦さん
パトラン松戸チーム所属
北海道出身で松戸に住み始めてもうすぐ 10 年を迎える。パトランに取り組み始めたきっかけは松戸市民がつながる Facebook グループで知り合いのパトラン投稿がきっかけで興味を持ち活動に参加するようになり、松戸チーム設立時から活動に参画し、現在は松戸チームの幹部を務める。



OSAKA MARATHON

2017年度大阪マラソンチャリティ寄付先団体に初めて選出されました。チャリティカラーは紺色。同じ紺色のプール・ボランティアさんとタッグを組み、大阪マラソンのPRランイベントやチャリティランナー向けセミナーなどを開催しました。

2018年度も大阪マラソンのチャリティ寄付先団体に選出されました。



大会前までのチャリティランナーの募集や2日間の大会EXPOでは活動ブースでのPR、大会当日は沿道での応援などを実施。また公式では初めて全国各地のメンバーが集ってのパトラン交流会を実施しました。

▼2017年度大阪マラソンチャリティランナーの皆様

11月26日開催の大阪マラソンのチャリティランナーとして20名の方々に改革プロジェクトのチャリティランナーとして出走していただきました。大会出走費7万円をクラウドファンディングで募り出走する制度で大阪マラソンを通じて、活動支援や活動PRに欠かせない存在です。

名前はエントリー登録のお名前です。

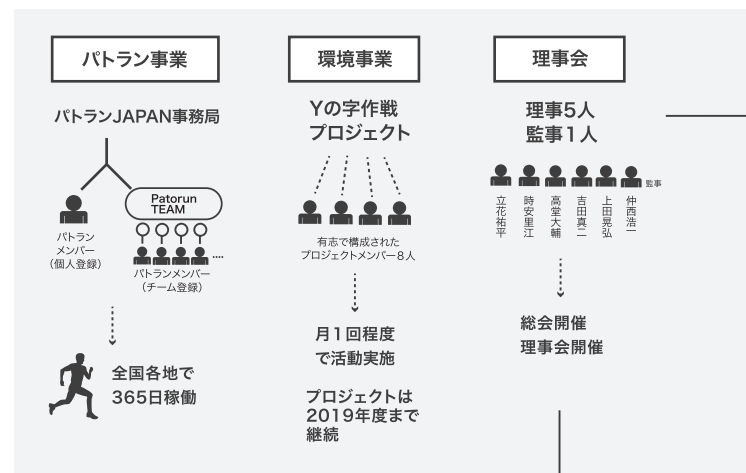


団体での取り組み

Kaikaku Project

▼事業体制

2017年度は大きく3つのカテゴリーで団体の活動を運営してきました。パトラン事業では「パトランJAPAN事務局」、環境事業では「Yの字作戦プロジェクト」、団体運営は理事会が主体となり実施しています。



組織力の向上と組織文化の醸成に向けて

法人化してから4年目を迎え、団体としてさらなるステップアップのために個に依存する体制から脱却し、組織力を高める必要性を感じています。また組織としての個性や文化を育むことにも注力していきます。

理事合宿開催(2018年2月)

一昨年から実施している理事・スタッフ合宿を1泊2日で開催しました。2017年は団体の組織文化の醸成をテーマにスタッフの行動基準やルールの策定などをメインに協議しました。



●新たに設けた団体の行動規律五カ条

【コミュニケーション】スムーズなバスワーク
【視点】鳥の目、虫の目、相手の目線で物事を考えよ
【主体性】1に計画、2に宣言、3に実践、4に評価
【情報共有】受けた情報は24時間以内にリアクションする
【自己研鑽】強みを磨く1日15分の習慣を

●個々人のスキルアップの取り組み

冒頭の挨拶で紹介しているストレッチスファインダーを実施し、それぞれの5つの特性をチーム内部で共有し業務の割り振りに活かしています。また3ヶ月に1度、個々人が読んだ本をプレゼンし紹介する機会を自己研鑽の場として新年度より新たに設けます。

認定NPO法人の取得に向けて

2017年は認定NPO法人の取得に向けて本格的に内部体制を整えはじめた1年となりました。パトランの展開が活動のメインとなっていたため、改革プロジェクトとしての基盤の構築に課題を抱えていました。2018年度は特例認定NPO法人アカツキの助成金「アケボノファンド」を活用し内部基盤を更なる強化に務めます。そして、2019年度に認定取得の申請を行うことを目指します。

NEWS メディア実績

新聞	テレビ	ラジオ	WEBメディア
33回	10回	6回	3回

<2016年度> 新聞8回 テレビ4回 ラジオ1回

■新聞

三河新報・愛三時報(4/7)「春の交通安全」西尾チーム
朝日新聞(5/1) 松戸チーム
千葉日報新聞(5/2)
東京新聞(5/2)
毎日新聞(5/2)
千葉日報新聞(5/16) 松戸チーム
毎日新聞(5/29) 北九州チーム
千葉新聞(6/25) 松戸チーム
毎日新聞夕刊(6/26) 松戸チーム
毎日新聞(7/3) 北九州チーム
愛三時報(7/4) 西尾チーム
三河新報(7/5) 西尾チーム
三河新報(7/13) 西尾チーム
毎日新聞(8/3) 代表 立花祐平
三河新報・愛三時報(8/11) 西尾チーム
毎日新聞(8/14) 北九州チーム
読売新聞(8/23) 愛知県成瀬さん
毎日新聞(9/25) 北九州チーム
毎日新聞(9/28) 北九州チーム
日本経済新聞(10/2) 伊丹チーム
毎日新聞(10/15) 「発足2周年」北九州チーム
読売新聞(12/14) 「地域の味方パトランナー」
読売新聞(12/26) 「パトラン官民一緒に」伊丹チーム
三河新報(12/27) 西尾チーム
共同通信社(12/31)パトランJAPAN
愛三時報(1/5) 西尾チーム「1周年」
毎日新聞(1/8) 松戸チーム「松戸七草マラソン」
三河新報・愛三時報(1/16) 「西尾チーム1周年」
毎日新聞(1/26) 「防犯講習会」北九州チーム
新聞&テレビ(3/22) 「北九州スマイルFUNRUN!」北九州チーム

■テレビ

J:COM(5/8) 松戸チーム
NHKジャーナル(5/16) パトランJAPAN
千葉テレビ NEWSチバ 松戸チーム
KBCニュースピア(8/30) クリーンアップYの字作戦
NHK「おはよう日本」(9/26) 北九州チーム
毎日放送「ちんぷいぷい」(10/18) 伊丹チーム
RKBテレビ「旬感北九州」(11/22)北九州チーム
NHK神戸(3/7)パトラン伊丹チーム
NHK「ニュースブリッジ北九州」(3/16)「ニュース845北九州」北九州チーム

■ラジオ

J-WAVE「平井理央のWONDER VISION」(4/2) 松戸チーム竹内代表
FM KITAQ(10/12) 北九州チーム
関西ABCラジオ「武田和歌子のびたっと。」(10/30)伊丹チーム
JFN PARK「Day by Day」(1/15)代表立花が出演
ラジオMID FM「エレノア・シーのHAPPY♡SMILE」(3/7)西尾チーム
「FMヨコハマ ちようどいいラジオ」(3/20) 代表立花が出演

■WEBメディア

MELOS (6/20) パトランJAPAN
WEBメディア(12/1)大東京防犯ネットワーク
WEBメディア(1/11)「LOCAL GOOD KITAQ」北九州チーム





Yの字作戦

環境事業

Yの字作戦は、宗像の釣川から大島、地島を結ぶYの字で、日本の自然環境を美しくするためのプロジェクトです。活動の実施は海岸、河川での清掃活動がメインです。改革プロジェクトは2010年に海岸の清掃活動を実施したことからスタートした団体です。美しい自然環境の維持と安心して暮らせる地域づくりという2つの観点からこの事業に取り組んでいます。



参加者の声

深浜海岸での海岸清掃活動に参加いたしました。清掃活動でゴミを拾い集め海岸が美しくなっていく様子を見て、自分たちが環境改善に役立っていることを実感できて充実感がありました。また、活動を通じて日本の海岸の抱える環境問題も理解できるようになりました。「海岸を美しくする」だけでなく、「私たちが日常生活で廃棄しているゴミが適正に処理されているのか？」といったことまで関心を持つようになりました。活動後に改革プロジェクトさんが準備して下さる郷土料理も大変おいしく、毎回楽しみにしています。これからも活動に参加していきたいと思っています。



TOTO株式会社
小倉第一工場 工場長
中山 英顕さん

深浜海岸で『Yの字作戦』の海岸清掃活動に参加いたしました。みんなで汗を流しているうちに、海岸がきれいになっていく様子は非常に充実感がありました。また、清掃活動の中にエンターテインメントの要素も盛り込んでいただき楽しい活動でした。この活動では、ゴミを拾うことだけでなく、参加することによって宗像の自然環境が置かれている現状を知ることによって環境保全の意識が高められたと思います。世界遺産地区の海岸を素足で歩けるように、微力ではありますが、これからも活動を続けていきたいと思っています。



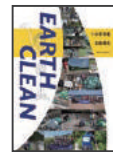
TOTO株式会社
事務管理グループ
幡手 伸太郎さん



Yの字作戦の事例発表

2018年3月9日に開催されたTOTO水環境基金助成団体交流会で代表の立花がこれまでの3年間の取り組みの活動事例の紹介を行いました。交流会には今年度より助成が決定した団体が全国より集まりました。

3年間の活動



3年間の活動成果をまとめた
報告書を発行しました！

2015年度活動記録

日付	内容・実施場所	回収ごみ量(kg)	参加数(人)	
5/24	深浜海岸クリーンアップ	320	39	参加者総数 164人
6/21	釣川クリーンアップ	60	13	
7/26	大島クリーンアップ	雨天中止	—	
8/23	地島クリーンアップ	110	7	総回収量 1,045kg
9/12	深浜海岸クリーンアップ	35	76	
10/3	さつき松原クリーンアップ	240	6	
11/14	深浜海岸クリーンアップ × TOTO(株)	雨天中止	—	
1/17	深浜海岸クリーンアップ × TOTO(株)	480	11	
2/28	釣川クリーンアップ	40	12	

2016年度活動記録

5/22	さつき松原クリーンアップ	250	11	参加者総数 144人
6/11	深浜海岸クリーンアップ × TOTO(株)	300	74	
7/31	地島クリーンアップ	65	9	
8/20	大島クリーンアップ	250	31	総回収量 1,325kg
9/25	さつき松原クリーンアップ	285	7	
11/19	深浜海岸クリーンアップ × TOTO(株)	雨天中止	—	
1/22	深浜海岸クリーンアップ	125	6	
3/11	小森川クリーンアップ	50	6	

2017年度活動記録

5/5	さつき松原クリーンアップ	175	11	参加者総数 203人
6/17	深浜海岸クリーンアップ × TOTO(株)	398	70	
7/2	釣川クリーンアップ	70	5	
8/26	大島クリーンアップ × TOTO(株)	840	30	総回収量 2,830kg
9/24	さつき松原クリーンアップ	168	8	
10/14	釣川・さつき松原クリーンアップ	136	5	
11/11	深浜海岸クリーンアップ × TOTO(株)	714	63	
12/9	深浜海岸クリーンアップ	105	4	
3/17	深浜海岸・さつき松原クリーンアップ	224	7	

3年間のYの字作戦は延べ・・・

参加者総数
511人

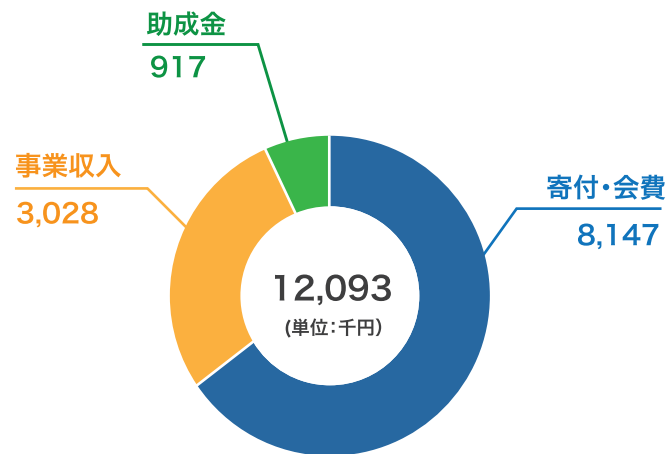
総回収量
5,200kg



Yの字作戦はTOTO水環境基金の助成金を受けて活動しています。

2017年度の会計報告

2017年度収入



サポーター人数 2016年度 18人 → STAY

寄付人数 2016年度 8人 → UP

大阪マラソン
チャリティランナー

認定NPO法人の基準である寄付支援者100人以上を目指し
2018年度も応援してもらえる団体づくりを進めています。

2018年度に向けて



パトランのテクノロジー部分の基盤強化

1,000人を超えるメンバーの活動記録や活動成果、メンバーへのコミュニケーションなどの部分でアナログでの対応に難しさを感じてきました。専用アプリの開発などにより、活動成果を可視化する仕組みづくりが急務です。今年度はテクノロジーの基盤整備にも力を注いでいきたいと考えています。

寄付支援の取り組み

2017年度より新たに開始した寄付につながるサービスです。

●パトラン担々麺



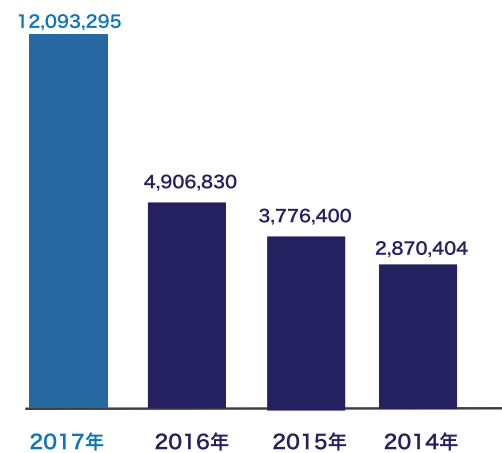
宗像市の中華菜館五丈原さんで注文すると1食につき20円が支援につながるパトラン担々麺を新たにメニューに加えていただきました。

●自動販売機の設置



購入が活動の支援につながる自動販売機を株式会社J-work様の事務所前に設置させていただきました。1本の購入につき30円が活動の支援に繋がります。

収入の推移



2017年度は大阪マラソンの寄付先団体に選定されたことを受け、大幅に寄付での収入が増加しました。助成金はTOTO水環境基金の助成3年目となります。

●支出総額 11,571



単位:千円

●貸借対照表

資産の部	金額	負債の部	金額
【固定資産】		【固定負債】	
1.基金・積立		未払金	316,750
①基金	60,314	【流動負債】	
②積立	2,913,315	短期借入金	2,421,781
③繰上償還金	2,921,557	短期借入金	2,421,781
④繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑤繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑥繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑦繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑧繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑨繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑩繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑪繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑫繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑬繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑭繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑮繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑯繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑰繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑱繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑲繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
⑳繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉑繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉒繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉓繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉔繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉕繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉖繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉗繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉘繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉙繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉚繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉛繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉜繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉝繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉞繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㉟繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊱繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊲繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊳繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊴繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊵繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊶繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊷繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊸繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊹繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊺繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊻繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊼繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊽繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊾繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
㊿繰上償還金	59,240	短期借入金	2,421,781
繰上償還金合計	2,790,387	繰上償還金合計	2,790,387

2017年度は大阪マラソンの運営経費の補填のため日本政策金融公庫より250万円の借入れを行っています。単年度では52万円の収支ですが、昨年の繰越金がマイナス13万円だったため、それを差し引くと来期への繰越額は38万9千円となります。

●Gochiso

店舗での食事が活動支援につながるサービスです。サイトはこちら >



このプログラムは大塚製薬様の社会貢献活動のひとつで設置にかかる費用や電気代などの費用もないので気軽にできる活動支援でした。場所の提供だけなのでいろいろな事業所さんにも活用していただきたいと思います。

株式会社J-work
代表取締役 林山 龍二さん



ご支援いただいた法人サポーター様

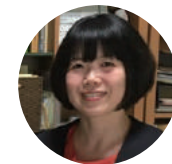
大阪マラソン大会事務局 様
株式会社セールスフォース・ドットコム 様
内科・放射線科 石野クリニック 様
有限会社セイソン 様
中華菜館 五丈原 様

ご支援者の声



石野クリニック院長
石野洋一さん

玄海灘に近い風光明媚な宗像に移り住んで10年になります。このような静かな地域でも暗い夜道等では劣質な痴漢行為が後を絶ちません。パトラン活動を共に楽しみながら平和な街作りのためにサポーターとして支援させていただきます。



雪松直子さん

改革プロジェクトのことを考えた時に何人ものメンバーの顔が思い浮かびます。地域が広がり、仲間が増えることに比例して、人と向き合うことをより大切に行っている。そんな姿勢に寄り添いたいと思っています。

皆さまの活動へのご支援ありがとうございました！

2017年度の制作物紹介

2017年度制作したユニフォームやアイテム・広報媒体を紹介します。



パトラン腕章

活動時に使用するオリジナル腕章を制作しました。デザインは防犯活動中であることを目立たせ、色も夜間で使える黄色の反射素材を使っています。



団体パンフレット

団体紹介パンフレットをリニューアルしました。デザイナーの谷口竜平さんに制作いただいています。



2017ver.

毎年制作しているパトランTシャツの年度バージョンです。デザインの選定はメンバーからの投票によって決定します。



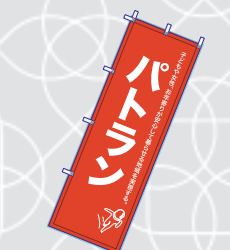
大阪マラソンモデル

大阪マラソンチャリティランナーにのみ配布したレアモデルです。チャリティカラーの紺色を使った色違いのパトランTシャツはまさに大阪マラソン特別仕様です。



5周年記念モデル

パトラン発足から5周年を記念して制作した限定デザインです。初代Tシャツに採用したパトボーヤの復刻版モデルとなりました。



パトランのぼり

パトラン時などで使用する活動PRのぼりです。手旗サイズもあり、パトラン中にも活用しています。



5周年記念コースター

発足5周年を記念して制作した記念グッズです。素材は紙でできています。



パトランタオル

パトラン時やマラソン大会などで使えるマフラータオルです。定番デザインのマルパマークを採用しています。

街頭犯罪がゼロの地域の実現に向けて

犯罪数は日本全体で減少している

日本全体の街頭犯罪率は2002年をピークに年々減少していますが、それでもまだまだ多くの犯罪が昼夜問わず起きているのが現状です。何の罪もない幼い子どもが犯罪の被害に遭う事件も後を経たちません。警察や行政に全てをまかせることは現実的ではなく、地域での防犯力を高めることが安全な地域づくりに向けて必要不可欠であると考えます。



▲警察庁犯罪統計資料より



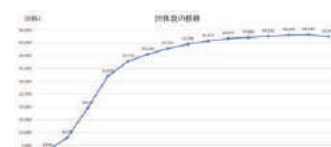
改革プロジェクトの活動で抑制を対象とする街頭犯罪



▲H28年度街頭犯罪数

しのび寄る高齢化の影響

防犯活動を実施する任意団体の数はH29年末で全国で47,444の団体が活動しています。平成15年以降右肩上がりに伸びていた団体数が初めて減少に転じました。取り組む人の数もここ数年で減少傾向にあり、H29年末では2,626,016人で昨年より約10万人減少しています。高齢化などにより団体を維持できなくなってきたことが大きな要因のひとつではないかと思っています。



▲警察庁「防犯ボランティア団体の活動状況等について」より

寄付で支援する

パトランのさらなる発展と継続のため活動のご支援をお願いいたします。年単位で継続的に応援していただくサポーター、もしくはご自由な額での寄付をお選びいただけます。

●年間サポーターで活動を継続的に支援する

個人サポーター

3,000円/年 6,000円/年
9,000円/年 12,000円/年
24,000円/年

団体サポーター

50,000円/年
30,000円/年
10,000円/年

サポーターになると

- ・サンクスレターの送付
- ・活動報告書の送付
- ・パトラングッズの送付

企業協賛

企業の社会貢献の取り組みとして改革プロジェクトの活動へのご協賛をお願いしております。詳しくは団体までお問い合わせください。

○今回のみ自由な金額で支援する

お申し込み方法 お申し込みは以下の方法でお手続きいただけます。

WEBサイト

以下QRコードを読み込み
WEBサイトでお手続きください。



メール お電話

以下の連絡先まで①氏名②ご住所③ご連絡先を
お伝えください。

information@patorun.com
090-2398-7390(担当:立花)

お支払い方法 クレジット決済と銀行振込の2つの方法があります。

クレジットカード決済

こちらのフォームより
ご支援金額を選択して
必要情報をご記入ください。



銀行振込

下記口座へお振込ください。

ゆうちょ銀行 支店:七四八
口座番号:普通 5835622
口座名義:NPO法人 改革プロジェクト【トクヒ】カイカクプロジェクト